

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第24期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
【英訳名】	SOFTBANK TECHNOLOGY CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石川 憲和
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西五軒町13番1号
【電話番号】	03（5206）3316
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志水 直樹
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西五軒町13番1号
【電話番号】	03（5206）3316
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志水 直樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第2四半期 連結累計期間	第24期 第2四半期 連結累計期間	第23期
会計期間	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高 (千円)	13,944,191	14,851,574	29,614,699
経常利益 (千円)	526,900	682,702	1,133,023
四半期(当期)純利益 (千円)	228,999	390,054	475,845
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	161,837	452,305	387,732
純資産額 (千円)	7,172,841	7,713,111	7,398,735
総資産額 (千円)	12,589,184	13,356,266	13,337,728
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	23.66	40.30	49.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	57.0	57.7	55.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	518,960	833,709	1,470,940
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	342,842	208,364	607,457
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	164,878	149,652	180,434
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,592,416	5,156,656	4,264,224

回次	第23期 第2四半期 連結会計期間	第24期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	12.99	17.73

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 3 第23期第2四半期連結累計期間、第23期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、第24期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 4 第23期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の経済停滞を脱し、ゆるやかな回復が見られました。また、ソフトバンクグループにおいては、通信事業関連を中心に積極的な設備投資が継続しました。

このような状況下、当社は引き続き「System Integrator から Service Integrator へ」を標榜し、事業のService化と体系化を推進してまいりました。

お客様のオンラインビジネスを加速させる「Online Business Solution & Service」事業では、「EC-BPO Service」での収益率向上、「Web-Marketing Service」での新規顧客を中心とした拡販に注力してまいりました。

お客様のクラウド化を支援する「Cloud Enabling®」事業では、IDC事業者やグループ会社向けのクラウド化支援サービスが好調に推移しました。自社開発した「Access Service」も顧客獲得に傾注し黒字化を果たしました。省電力への投資意欲を受けて省電力・高密度サーバ販売も伸長しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,851,574千円（前年同期比+6.5%）、営業利益684,945千円（前年同期比+44.8%）、経常利益682,702千円（前年同期比+29.6%）、四半期純利益390,054千円（前年同期比+70.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (イービジネスサービス事業)

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,960,931千円（前年同期比+0.7%）、営業利益は448,773千円（前年同期比+26.4%）となりました。

当事業の中核を成す「EC-BPO Service」においては、国内におけるウイルス対策ソフト販売で安定的な売上高を確保する一方、事業の選択と集中による収益率向上策を進めたことで増益となりました。

また、さらなる事業拡大のため東アジア諸国でのサービス提供も開始しており、順調に売上を伸ばしております。

サービスの総合化をすすめている「Web-Marketing Service」についても、新規顧客を中心とした拡販により利益貢献を果たしております。

#### (ソリューション事業)

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,890,642千円（前年同期比+16.8%）、営業利益は236,172千円（前年同期比+100.2%）となりました。

当事業では、Cloud Serviceへのセキュアなアクセスを可能にするAccess Serviceが順調に事業進展しております。「Online Service Gate®」が黒字化を果たすとともに、新たにサービス開始した「Smart Catalog Access」も大規模導入案件を獲得し、収益に寄与しました。

また、IDC事業者やソフトバンクグループ会社向けにクラウド化支援ビジネスが順調に推移したほか、震災を機に高まった省電力需要を受けた省電力・高密度サーバ販売ビジネスが大きく伸長しました。

( 2 ) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より 892,421千円増加して5,156,656千円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、833,709千円の資金の増加となりました。前年同期に比べて314,748千円増加しておりますが、これは、税金等調整前四半期純利益の増加、法人税等の支払額の減少などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、208,364千円の資金の増加となりました。前年同期に比べて551,207千円増加しておりますが、これは、有価証券の取得による支出の減少、有価証券の償還による収入の増加などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、149,652千円の資金の減少となりました。前年同期に比べて15,226千円増加しておりますが、これは、配当金の支払額の減少などによるものです。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、18,965千円であります。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,560,800
計	42,560,800

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,640,200	10,640,200	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式、単元株式数 100株
計	10,640,200	10,640,200		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		10,640		634,555		712,204

## (6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
ソフトバンク株式会社	東京都港区東新橋 1 - 9 - 1	5,367,500	50.44
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック フアンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	40 WATER STREET, BOSTON MA 02109 U. S.A. (東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1 決 済事業部)	700,000	6.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口) (注) 2	東京都中央区晴海 1 - 8 - 11	157,500	1.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) (注) 3	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	125,300	1.17
石川 憲和	東京都目黒区	120,000	1.12
山田 勝男	千葉県浦安市	60,000	0.56
金子 博昭	和歌山県和歌山市	50,000	0.46
真鳥 俊幸	福岡県福岡市南区	39,000	0.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口1) (注) 2	東京都中央区晴海 1 - 8 - 11	36,100	0.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口6) (注) 2	東京都中央区晴海 1 - 8 - 11	34,900	0.32
計		6,690,300	62.87

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式961,775株(9.03%)があります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 961,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,674,500	96,745	
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	10,640,200		
総株主の議決権		96,745	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式75株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) ソフトバンク・テクノロジー株式会社	東京都新宿区西五軒町 13番1号	961,700		961,700	9.03
計		961,700		961,700	9.03

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,065,127	4,957,433
受取手形及び売掛金	4,163,928	3,590,567
有価証券	496,835	298,292
商品	56,893	48,796
仕掛品	125,565	135,938
繰延税金資産	163,986	173,097
その他	518,811	569,584
貸倒引当金	18,455	18,047
流動資産合計	9,572,693	9,755,663
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	98,743	90,601
工具、器具及び備品(純額)	340,632	315,949
建設仮勘定	3,049	806
有形固定資産合計	442,424	407,357
無形固定資産		
ソフトウェア	457,059	470,987
ソフトウェア仮勘定	34,687	68,249
その他	12,182	11,993
無形固定資産合計	503,929	551,230
投資その他の資産		
投資有価証券	1,821,001	1,702,573
繰延税金資産	411,679	341,025
その他	595,549	607,065
貸倒引当金	9,550	8,650
投資その他の資産合計	2,818,681	2,642,015
固定資産合計	3,765,035	3,600,603
資産合計	13,337,728	13,356,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,027,584	3,428,201
リース債務	31,448	32,001
未払金	297,918	317,894
未払法人税等	84,934	234,701
賞与引当金	314,982	324,666
役員賞与引当金	-	5,700
受注損失引当金	-	1,485
瑕疵補修引当金	6,225	-
その他	650,689	792,868
流動負債合計	5,413,783	5,137,519
固定負債		
リース債務	93,067	76,927
長期前受金	367,756	365,642
負ののれん	11,650	9,858
資産除去債務	52,735	53,207
固定負債合計	525,210	505,635
負債合計	5,938,993	5,643,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	6,840,066	7,092,192
自己株式	747,553	747,553
株主資本合計	7,439,273	7,691,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,704	21,712
為替換算調整勘定	52,242	-
その他の包括利益累計額合計	40,537	21,712
純資産合計	7,398,735	7,713,111
負債純資産合計	13,337,728	13,356,266

( 2 ) 【 四半期連結損益及び包括利益計算書 】  
【 第 2 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
売上高	13,944,191	14,851,574
売上原価	12,638,824	13,405,179
売上総利益	1,305,367	1,446,394
販売費及び一般管理費	832,369	761,448
営業利益	472,997	684,945
営業外収益		
受取利息	16,374	25,809
受取配当金	3,290	3,660
持分法による投資利益	29,250	-
雑収入	8,136	4,758
営業外収益合計	57,051	34,227
営業外費用		
支払利息	3,113	1,961
投資事業組合運用損	-	24,209
為替差損	-	10,297
雑損失	34	2
営業外費用合計	3,148	36,471
経常利益	526,900	682,702
特別利益		
投資有価証券売却益	159,367	43,209
貸倒引当金戻入額	1,353	-
その他	1,000	-
特別利益合計	161,720	43,209
特別損失		
固定資産除却損	59,839	8,705
投資有価証券売却損	18,322	6,831
投資有価証券評価損	150,975	21,719
減損損失	20,614	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47,274	-
その他	21,318	-
特別損失合計	318,345	37,257
税金等調整前四半期純利益	370,276	688,654
法人税、住民税及び事業税	230,574	221,706
法人税等調整額	89,297	76,892
法人税等合計	141,277	298,599
四半期純利益	228,999	390,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,885	10,007
為替換算調整勘定	33,276	52,242
その他の包括利益合計	67,161	62,250
四半期包括利益	161,837	452,305

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	370,276	688,654
減価償却費	144,878	146,625
減損損失	20,614	-
負ののれん償却額	1,792	1,792
貸倒引当金の増減額(は減少)	459	408
賞与引当金の増減額(は減少)	20,466	9,683
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,560	5,700
受注損失引当金の増減額(は減少)	72,759	1,485
瑕疵補修引当金の増減額(は減少)	-	6,225
有形固定資産除却損	983	1,187
無形固定資産除却損	58,856	7,517
受取利息及び受取配当金	19,664	29,469
支払利息	3,113	1,961
持分法による投資損益(は益)	29,250	-
投資事業組合運用損益(は益)	1,600	24,209
投資有価証券売却損益(は益)	141,044	36,377
投資有価証券評価損益(は益)	150,975	21,719
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47,274	-
売上債権の増減額(は増加)	373,591	573,361
たな卸資産の増減額(は増加)	23,232	1,814
営業債権の増減額(は増加)	219,610	63,114
仕入債務の増減額(は減少)	134,520	599,383
未払消費税等の増減額(は減少)	12,312	12,472
営業債務の増減額(は減少)	186,415	153,768
その他	16,281	428
小計	742,039	884,387
利息及び配当金の受取額	133,951	24,977
利息の支払額	3,113	1,961
法人税等の支払額	353,916	73,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	518,960	833,709

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	167,121	34,403
無形固定資産の取得による支出	99,859	132,694
有価証券の取得による支出	299,125	-
有価証券の償還による収入	100,000	300,000
投資有価証券の取得による支出	295,534	200,959
投資有価証券の売却による収入	406,719	275,520
貸付金の回収による収入	900	900
差入保証金の差入による支出	360	-
差入保証金の回収による収入	25,266	-
資産除去債務の履行に係る支出額	13,728	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	342,842	208,364
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600,000	-
短期借入金の返済による支出	600,000	-
配当金の支払額	154,767	134,065
新規取得設備のリース化による収入	4,519	-
リース債務の返済による支出	14,631	15,587
財務活動によるキャッシュ・フロー	164,878	149,652
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	11,239	892,421
現金及び現金同等物の期首残高	3,581,176	4,264,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,592,416	5,156,656

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
持分法適用の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、科大恒星電子商務技術有限公司は全持分を譲渡したため、持分法適用の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は、ソフトバンク㈱と極度貸付契約書を締結しております。当該契約に基づく貸出未実行残高は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
貸付限度額	2,500,000千円	4,000,000千円
当期末貸付残高	千円	千円
貸付未実行残高(差引額)	2,500,000千円	4,000,000千円

なお、上記極度貸付約定書においては、個別に審査し貸付額を決定するため、必ずしも全額が貸付実行されるものではありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
給与手当	319,741千円	276,972千円
貸倒引当金繰入額	61千円	16千円
賞与引当金繰入額	73,767千円	82,198千円
役員賞与引当金繰入額	4,560千円	5,700千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	3,592,416千円	4,957,433千円
有価証券勘定	千円	298,292千円
償還期間が3ヶ月を超える債券	千円	99,070千円
現金及び現金同等物	3,592,416千円	5,156,656千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月19日 定時株主総会	普通株式	154,854	16.00	平成22年3月31日	平成22年6月21日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月22日 定時株主総会	普通株式	154,854	16.00	平成23年3月31日	平成23年6月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	イービジネスサービス 事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,899,473	5,044,718	13,944,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	8,899,473	5,044,718	13,944,191
セグメント利益	355,004	117,993	472,997

(注)セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ソリューション事業」セグメントにおいて遊休状態となった事業用の固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては20,614千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	イービジネスサービス 事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,960,931	5,890,642	14,851,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	8,960,931	5,890,642	14,851,574
セグメント利益	448,773	236,172	684,945

(注)セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	23円66銭	40円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	228,999	390,054
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	228,999	390,054
普通株式の期中平均株式数(株)	9,678,425	9,678,425

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 板谷 宏之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 朽木 利宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているソフトバンク・テクノロジー株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ソフトバンク・テクノロジー株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。